



## よく尋ねられる質問 世界報告分析 2009年4月

問：世界報告分析はいつ行われるのですか。

答：報告分析は、管理委員会の4月と10月の会合のおよそ2週前にまとめられます。

問：世界報告分析には、どの種類の補助金が含まれるのですか。

答：この分析に含まれるのは、承認され、補助金の一部または全額の支払いを受けているすべてのマッチング・グラント、地区補助金、3-H補助金と、ボランティア奉仕活動補助金です。

問：報告書提出率はどう算出されるのですか。

答：報告書提出率には、分析が行われる時点で、一部または全額の支払いを受けていながら、補助金終結の要件を満たしていないすべての未終結の補助金が含まれます。

問：報告書の提出期日はいつですか。

答：中間（進捗）報告書は、補助金の支払後12カ月ごとに提出することになっています。不備のない中間報告書が提出されてから12カ月以内に、次の報告書を提出しなければなりません。漏れなく記入した最終報告書は、プロジェクト完了後2カ月以内に提出しなければなりません。

問：一回の分析で当地区の報告書提出率が70%を下回った場合、新しい補助金を申請することができますか。

答：現時点では、申請することができます。従って、地区は提出率を70%以上に維持することが望まれます。補助金に対する通常の要件は今まで通り、クラブ提唱のプロジェクトについて未提出の報告書がないクラブは新しい補助金を申請することができ、地区提唱のプロジェクトについて未提出の報告書がない地区は新しい補助金を申請することができます。

問：当地区は、報告書提出率が70%を下回っています。報告書提出率を引き上げるのにどのくらいの期間がありますか。

答：期日を過ぎても未提出の報告書は、記入の上、直ちにロータリー財団に提出しなければなりません。次回の補助金報告分析は、次回の管理委員会会合の約2週前に行われますので、地区（クラブ）からの報告書がロータリー財団に届き、審査が行われるよう十分な余裕を持って提出するようにしてください。報告書が「不備のない」ものとして受理される

問：当クラブ／当地区のプロジェクトはまだ完了していませんが、報告書の提出期日はどのようになっていますか。

答：プロジェクトの中間（進捗）報告書は、補助金支払い後12カ月以内、あるいは、前の中間報告書が財団で受理されてから12カ月以内に、いつでも提出することができます。次回の報告書の締切日は、前回の報告書が（不備のない）十分な報告書として財団に受理されてから12カ月以内である

と考えてください。12カ月間、プロジェクトにほとんど（または全然）進捗がなかった場合には、財団の要件を満たすために担当の補助金コーディネーターに相談してください。

問：当クラブ／当地区の補助金の進捗状況について、最近、担当の補助金コーディネーターと話したばかりですが、当クラブ／当地区が報告書未提出としてリストに掲載されました。担当の補助金コーディネーターは、なぜ私たちの補助金状況を更新してくれなかったのですか。

答：ロータリー財団の基準で報告が「十分」とみなされるには、ロータリー財団が用意している所定の書式に記入し、これを財団に提出しなければなりません。口頭での状況報告ももちろん参考になりますが、補助金の種類ごとに用意されているロータリー財団の所定の書式の使用が義務づけられており、これには財務の内訳表も含まれています。これらの書式は、ロータリーのウェブサイトからダウンロードすることができます。

問：当クラブ／地区は、マッチング・グラントまたは3H補助金の援助国協同提唱者となっています。なぜ私たちにもプロジェクトの報告責任があるのですか。

答：プロジェクトの報告は、マッチング・グラントおよび3H補助金の実施国と援助国双方の協同提唱者の責任です。マッチング・グラントと3H補助金は、双方の提唱者に対して授与されるものであり、ロータリー財団管理委員会は、国際的な提携関係を持つことを補助金の主要な指針として定めています。相手の協同提唱者との連絡が順調に行かない場合には、担当の補助金コーディネーターにご相談ください。

問：当クラブ／地区はマッチング・グラントの報告書が期日を過ぎて未提出となっていますが、なぜこれによって、地区補助金の申請が妨げられているのですか。

答：2006年7月1日現在、クラブが提唱した補助金において未提出となっている報告書がある場合には、当該クラブから提出されるすべての種類の補助金について、手続きが中止されます。報告書が未提出となっているプロジェクトが地区の提唱による場合、未提出となっている報告書が提出されるまで、一切の補助金手続きは保留となります。

問：プロジェクトの報告書を部分的に提出しましたが、なぜ当クラブ／当地区は未提出としてリストに掲載されているのでしょうか。

答：プロジェクトの報告書は、記入漏れや不備のないものでないと受理されません。提出された報告書を不備のないものとするために追加情報が必要とされる場合、担当の補助金コーディネーターがプロジェクト提唱者に通知します。報告書は、すべての報告要件が満たされるまで、受理されません。

問：当ロータリー・クラブには、まだ実施中のプロジェクトが複数あります。当クラブの活動記録を見るために、活動報告ファイル（**File Activity Report**）を入手することはできますか。

答：地区指導者は、担当の補助金コーディネーターに連絡し、月に1部のみ、活動報告ファイル（**File Activity Report**）を要請することができます。

世界報告分析に関する管理委員会の決定の詳細は、どこを見ればよいですか。

答：決定は、ロータリー財団章第9.101.5.2項に記されています。

**\*\*この他のご質問は、国際ロータリー日本事務局財団室までお問い合わせください。**

カナダまたは米国の場合、お電話と E -メールでロータリー財団お問い合わせセンターに連絡をとることがある;電話： 1-866-9ROTARY E-mail：contact.center@rotary.org（勤務時間、月-金、中部標準市8:00am-5：00pm）

お問い合わせセンターでは、通訳なしで英語での問い合わせが必要で、補助金の活動報告書を入手したり、報告書についての一般的な問い合わせをすることができる。

補助金のコーディネーターや財団職員のリストは、ロータリー・ウェブサイトを参照してください。